

町長杯争奪ゲートボール大会

4月13日、第4回町長杯争奪ゲートボール大会が、新装なった二本木グラウンド(ゲートボール場)で、浅見町長、神田町議長、柴沢体育協会会長出席のもと、町内6チーム約50名が参加。熱戦が展開され、常勝の二本木ゴロゴロチームAが横越チームに1点差で破れるという

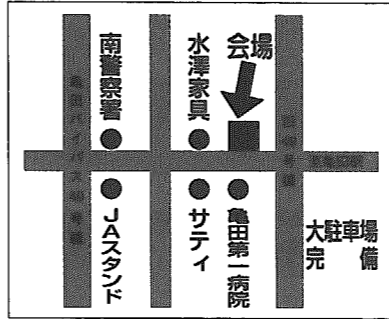
番狂わせがあるなど、大会は大いに盛り上がりました。午後からは親善試合があり、参加者それぞれがくじ引きで新しくチームを編成して、ふだんとは違う顔ぶれでお互いに協力し合いながらゲームを行い、和気あいあいのうちに終了しました。

さつき展示即売会開催

亀田町卓月組合とJA亀田郷みなみでは、さつき展示即売会を開催しますので、お越しください。

▼問い合わせ

JA亀田郷みなみ
☎382-6363



▼時間 午前9時～午後6時
▼会場 亀田郷みなみ農協市場(亀田駅前 地図参照)

▼期間 5月27日(土) 6月7日(水)

耳よりの情報 広域情報ネットワーク

<新潟市>

良寛一七〇年祭

- ▶5月20日(土) 良寛サミット、創作能、ほか
- ▶5月21日(日) 音楽演奏会、シンポジウム、ほか
- ▶5月12日(金)～21日(日) 「良寛と新潟市」展
- ▶5月18日(水)～6月11日(日) 「良寛」展
- ▶会場 りゅーとびあ(新潟市民芸術文化会館)
- ▶問い合わせ 新潟市役所文化振興課 ☎226-2153

<白根市>

白根大風合戦

- 中ノ口川(川幅約80m)の兩岸、東軍(白根市)と西軍(味方村)から畳24畳の大風を揚げ、空中で絡ませて川に落とし、観衆も加わって引き合い、相手の凧網を切るという勇壮な世界一大風合戦です。300有余年の歴史を持つ伝統行事です。
- ▶日時 6月2日(金)～6日(火) 午後1時～6時
 - ▶会場 中ノ口川堤防(凧見橋～白根橋間)
 - ▶問い合わせ 白根市役所商工観光課 ☎373-2111

<小須戸町>

小須戸町植木盆栽まつり

- ▶期日 4月29日(祝)～5月14日(日)
- ▶会場 花とみどりのシンボルゾーン
- ▶内容 花とみどりの小須戸町の園芸業者が一同に集まり、色とりどりの花き・花木の展示即売を行います。また、5月3日～5日は花の苗プレゼントなど催し物も行われます。

さつきまつり

- ▶期日 5月20日(土)～6月11日(日)
- ▶会場 花とみどりのシンボルゾーン
- ▶内容 会場には、銘花・銘木が並び、それぞれに賞を競い合います。また、約4000鉢のさつきが安値で即売されます。
- ▶問い合わせ 小須戸町役場 ☎0250-38-3111

今回の席題は「つくし」と「蝶」

二本木コミュニティセンターで 親善俳句大会

4月9日、二本木地区コミュニティセンターを会場に、第2回阿梨乃実吟社・かたつむり句会親善俳句大会が開催され、両会あわせて23名が参加しました。

阿梨乃実吟社は主に二本木地区の俳句愛好者が参加したサークル、かたつむり句会は新潟市の俳句愛好者のサークルです。他の地域の人たちとも交流・親善を深めようと年に一度開催しているこの大会は昨年に続き今年で2回目。今年の席題は「つくし」と「蝶」。一人が3句投句して、69句が集まり、参加者全員が選者となって、自分以外の良いと思った作品を選んでいきました。句の中に同じ言葉を使っている人も、人それぞれの見方によ



今年2月にオープンしたばかりの二本木コミュニティセンターで行われた親善俳句大会

て様々な表現がされていました。この会での高点句は「背の尻の 土筆握りしまま寝落つ」となりました。

ふる里物語 町史編さんだより 66

語り部がいざなう フアンタジーの世界

『横越のむかし語り』

5月末発刊

「太陽のひげ三本」、「パレロン」、「フウフウバタバタとイカン」、「怪盗パッパ」。みなさんは、このような標題からどのようなイメージを浮かべますでしょうか? 実は、みんな横越町で昔から語られてきた昔話なのです。それぞれの内容については、読んでからのお楽

一 横越の昔話

昔話は、全部で175話あります。新潟市近郊の平野部で、これほどの数の民話資源を保有しているところは、きわめて稀です。これらは、長岡市出身の民話研究者である故水澤謙一氏により、昭和51年前後に横越で採録されたテープから、今回あらためて活字化したもので、水澤先生のご遺族と長岡市文書資料室のご好意によって、初めて発表される珠玉の教々です。

なかでも、百話を超える良質な昔話を伝えた木津の笠原ミツノさん(94歳)は、まさに新潟県が全国に誇れる現代の「語り部」です。

また、昔話は全編を通して、横越の言葉でそのまま採録されています。いきいきと描かれた物語と、次第に忘れ去られたある心温まる懐かしいふるさとの響きの綾をお楽しみください。一流の画家による素敵な挿画も、みなさんを幻想的な民話の世界へと引き込むことでしょう。

二 横越の伝説

こんなにせまくて、低湿地の横越に古い歴史や伝説があるの? とよく言われますが、それがたくさんあるのです。全部で53本の伝説を一挙に公開します。空想的・教訓的な昔話とは違い、伝説は歴史的背景をともなうものとされています。越後特有の親鸞上人伝説やお寺の縁起などから収録したものではなく、江戸時代に実在した沢海藩とその滅亡に関わる話や、今から約300年前の古老が記した古文書の中の伝説、町内の地蔵様の由来など、わかりやすい言葉で写真をまじえてご紹介いたします。妖しげな光を放つ横越のミステリーゾーンへどうぞ。

三 横越の民謡とわらべ唄

ここでは、労作唄・神楽唄・甚句・語り物・わらべ唄などを集めました。神楽唄や甚句などは、地域の神楽保存会の努力により継承されてきましたが、仕事も遊びも機械化・電子化が進む今日、労作唄やわらべ唄は、ほとんど聴かれなくなりました。歌詞からは、往時の生活の中でのささやかな喜びや悲しみをうかがうことができます。また、懐かしい旧小学校の校歌や、最近制作された故郷の歌も楽譜入りでご紹介しました。

「横越町史」というと、堅くて難しい学術書という印象が強いと思いますが、「横越のむかし語り」は、活字も大きく、挿画・写真満載で、どなたでも気軽に読める親しみやすい本です。小学生のお子様をお持ちの若いお母さん。就寝前の読み聞かせにいかがでしょうか?

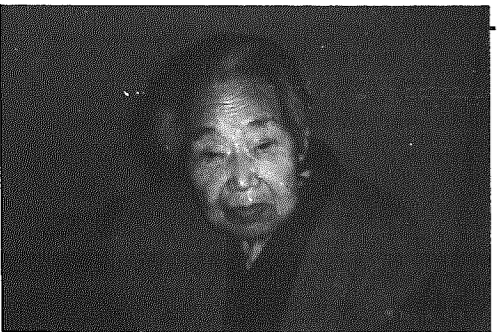
〈おわび〉「横越町史」資料編・「横越のむかし語り」とも5月末発行です。刊行が遅れ、ご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。
(横越町史編さん室)

俳句

句題 春の朝 海女 藤

(公募作品 高点句)

- 溪流に揺るる吊橋藤の花 坪谷十九一
- 海女小屋にかかる小さな壁鏡 小林千恵子
- 園児の列藤咲く園に影来る 神田斗子
- 藤見客くははり寺の野点かな 村木緋佐子
- 佳き事に浮き立つ心藤仰ぐ 江口新
- 味噌煮釜土間に仕掛て春の朝 坪谷十九一
- 命綱桶につなぎて海女沈む 小林千恵子
- 銅葉待つ牛の長鳴き春の朝 谷井野武士
- 海女今日は休んで授業参観日 坪谷十九一
- 筆耕のつかれ眼癒やす藤の白 小林千恵子



1人で124話もの昔話を話す笠原ミツノさん(94歳・下木津)は、まさに伝説の「語り部」(平成9年撮影)